



# パレットkty



写真 / 塩釜桜

パレットkty事務局口座NO

〒981-3103 宮城県仙台市泉区山の寺1丁目38-21

七十七銀行 向陽台支店 普通口座 5296404  
パレットkty(キティ) 佐藤仁子 迄

新しいホームページ URL <http://partkty13.webcrow.jp/> に移りました。

いろ 色 いろ いっしょにあそぼう 夢織タイム

## 編集スタッフ

土橋 隆史 ・ 鈴木 とき子 ・ 篠田 幸子



**会費納入のお願い!!**  
平成28年度の納入忘れの方がいらっしゃるようですので銀行振込を宜しくお願い致します。  
平成29年度会費納入をお願い致します。

**平成29年度 活動予定**  
平成29年6月 東京  
" 7月 山形  
" 9月15日(金)~18日(月)  
仙台作品展示会を仙台市福祉プラザで

## 主な支援会社及び団体

協賛 (寄付・協力) バイオジェン・ジャパン (株) 助成 (公財) 仙台市市民文化事業団 (公益的活動寄付)ファイザー (株)  
後援 河北新報社 ・ 全国多発性硬化症友の会 協力 バイエル薬品 (株) 田辺三菱(株) 東北学院大学セツルメント会 ANAホリディーイン仙台

### 15周年記念文集の編集を終えて!!

土橋 隆史

編集をされていて昔の出来事、楽しい思い出や嫌な思い出など、15年間の活動にともない、今の自分が有るとつくづく思い、会員の皆さん、ボランティア、サポートしてくれた皆さんに、感謝の想いでいます。ありがとうございました。

記念誌の冒頭にも書きましたが、元来いい加減な性格の自分がパレットktyという崇高な活動をするサークルの長でいたのも、代表佐藤さんの叱咤激励の支えがあったから15年も続いたと感謝しています。

思い起こせば、作品展を観にいらした松岡宣子さんから「私も絵を描いたら来年展示させてもらえるかしら？」それからです、皆で相談しパレットktyが始まりました。

・・・いろ・・・色・・・いろ・・・いっしょに遊ぼう・・・夢織りタイム・・・

### 小さな輪がやがて大きな輪

を合言葉に160年目、長いようでアッという間の時の流れでした。その間に二人の仲間が亡くなりました。松岡の母さんと栗林の可愛い弟が・・・まだまだ二人とも活躍したかったろうにと思うと、とても悲しいです。しかし我々はその二人の残念な分も頑張っこの活動を進めて行かなくてはと心に言い聞かせて記念誌を編集しました。

ところで、記念誌の原稿は3/25に山形の富士印刷会社(峰岸全国会会長)へ入稿していますので、皆様には5月の初旬頃には郵送できると思います、楽しみにして下さい。いろんな方面の方々にコメントを頂き、手前味噌ですが仙台の会員たちと構想一年掛け、内容の濃い本になりました。原稿を頂いた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

話題は変わりますが、パレットktyのホームページはサーバーの関係で別の所へ移りました、と同時にページをリニューアルしました。今までのページと比較して、大分スリムにすっきりとしたページにしたつもりです。掲示板も新しく開設致しますので、今までどおり、投稿宜しくお願いいたします。

最後に自分の近況報告したいと思います。以前にも書きましたが、身体障害者就労施設に9:00~15:00まで勤めています。前日には弁当サラメンを作り、土曜日には洗濯と掃除をして、とても健康な時とは考えられない、品行方正な変わりようで...なんて、当たり前か。言いたい事はこの仕事のサイクル、リズムが身体にも良く、以前より生きていくという実感があり、張り切っています。

### 春・・・新しい年度の 始まりです 佐藤仁子

新学期が始まり黄色いカバーをランドセルにかけた「ピカピカの一年生」そしてやっと桜が・・・満開です。パレットk t yも平成29年度が始まりました。

栗林さんの死去により役員の変更など年度初めは忙しいですね。

そして4月に入院してしまった私です。病室の窓からは近くの神社やお寺の森の所々がピンク色に染まっています。我が家の団地内もうすぐ桜が満開になるでしょう。きっと庭も花盛り・・・花見は無理でも桜並木をドライブできたら楽しいでしょうね。花より団子・・・車の中でソフトクリームでも食べて・・・なんて思い浮かべています。

事務処理が入院の為なかなか進まず、皆様にはご迷惑をかけています。皆さん…ごめんなさい！！

パレットの15周年記念文集も4月7日に校正が終わり、印刷に入りました。

素敵な黄緑に黒猫さん。黒い足跡がてん・てん・てん・表紙の表裏に可愛く続いています。私達パレットk t yの為

に富士印刷の社長さんが考えてくださいました。嬉しいですね。皆さんの「想い」詰まった素敵な文集になりました。来月の末には皆様にお届けできるのではないかと思います。楽しみに待っていてください。

今年の第16回仙台作品展は、9月15日から9月18日までと決まりました。昨年より1日開催期間は短くなりますが、その分中身の濃い作品展展示会にできたらと思っています。皆さんの「想い」の籠った作品をお待ちしております。

いろ・・・色・・・いろ  
いっしょにあそぼう  
夢織りタイム

小さな輪が・大きな輪に

今年は何色の大きな花が咲くでしょう。  
私的には「大輪のひまわり」かしら・・・



そうですね、展示会が楽しみです。

## 「青い鳥郵便葉書の無償配付」のお知らせ

1976(昭和51)年度に当時の厚生省が提唱していた「身体障害者福祉強調運動」に合わせ、身体障がい者及び知的障がい者の福祉に対する国民の理解と認識をさらに深めることを目的として郵政省が実施しています。

- 1 配付の対象  
(1) 重度の身体障がい者 (2) 重度の知的障がい者
- 2 受付期間  
2017年4月1日(金)から同年5月31日(火)まで
- 3 配付葉書  
通常郵便葉書(無地、インクジェット紙又はくぼみ入り)  
通常郵便葉書胡蝶蘭(無地又はインクジェット紙)
- 4 配付枚数  
お一人につき上記配付葉書の中からいずれか1種類を20枚
- 5 お申出方法



窓口で配付の希望をお申出いただく場合は、最寄りの郵便局(簡易郵便局を除きます。以下同じとします。)に身体障害者手帳又は療育手帳を示いただいた上、「青い鳥郵便葉書配付申込書」(別紙)に必要な事項をご記入の上、ご提出ください。なお、代人によるご提出も可能です。お申込みに必要な用紙は、郵便局の窓口へ備え置いています。

### 平成29年度 会報発行予定

7月22日(土)  
10月21日(土)  
都合で遅れる場合もございます。



### 記事募集

エッセイ・短歌・俳句・イラストなど、ご自身の書かれた作品を広く募集していますので、お気軽に事務局へ。  
あなたの作品を皆様に見て貰いませんか！

### 会員募集

ホームページにポリシーにご賛同頂ける方の会員・賛助会員を募集しています。

### ボランティア会員募集

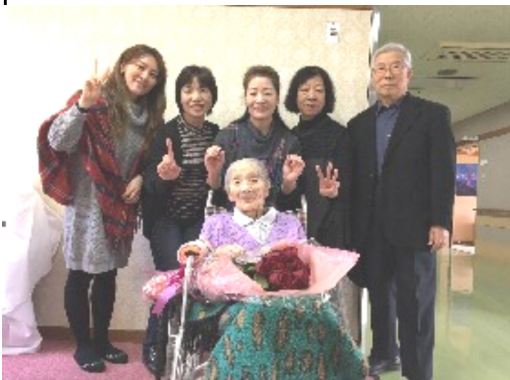
記載してある会則や運営に賛同していただき、仙台市に於いて役員会や会合にサポートして頂ける方の参加をお待ちしていますので事務局か土橋まで連絡を下さい。





### 百三歳バンザイ !! 鈴木 とき子

4月12日は、母の百三歳の誕生日だった。  
 近くに住んでいる姉と姉のつれあい、娘と私の5人で、母がお世話になっている老人施設『みどりの家』を訪れ、ささやかなお祝いをした。  
 花束はいつもの薔薇の花。今年は真紅。色は濃い目の赤だった。ちなみに去年のはバラ色だったと思う。その前はピンクと黄色。それから、イチゴのショートケーキを1個姉が買って来て、もう一人の姉が母の口へ運ぶ。その前に、みんなで「Happyバースデー」の歌を歌って、記念写真を撮った。いい笑顔が撮れた。



施設の皆さんには本当に大切にお世話をして頂いて、ありがたいと感謝している。今日、4月22日は、東京に住んでいる一番上の姉と姉の二人の娘が訪ねて来てくれて、母に誕生日祝を言ってくれた。

昨年も来てくれ、その折の写真が我が家の居間に飾ってある。長寿の家系かもしれないが、百歳を越えたのは母がはじめて。これまで大病をしないでこれたのと、若い時から労働をして体が鍛えられたおかげだろうか、ずいぶんと苦勞をしてきたのだが、神様は56さいで亡くなった夫の分まで、寿命を下さったのかもしれないと思う。  
 来年も母の誕生日を祝えることを願っている。

百三歳、凄いですね。  
 おめでとうございます。  
 一世紀ということから紀寿、また100歳であることから百寿と呼ばれています。白が長寿祝いの色とされています。  
 そこで私からここで、白いバラと白い薔薇のショートケーキを...  
 ...



宮城県932の数字は何でしょうか？

厚生労働省が発表した100歳以上の宮城県内の人数でした。

全国の高齢者調査が始まった、1963年が153人だったが、1998年に1万人を超え、近年は5万人を突破との事。

私も明日で65歳、介護保険に加入の連絡が市役所から来ました。鈴木さんのお母様の様に元気に長生きしたいものです。

### T男の美術館探訪記

ルノワール展の最終日仙台美術館に行ってきました。



明るい陽光のなかで、あどけない表情を浮かべる少女、柔らかい光のなかで、静かに読書する女性。これらのイメージには、ひとかけらの悩みもなく、画面の隅々まで幸せな情感に満たされています。このことが、ルノワールが多くの人々に愛され続ける理由ではないでしょうか。ルノワールが幸福感に満たされた絵を描いた背景には、楽しげな主題だけが楽しげな絵画を生み出すという確信があったからだといわれています。  
 今ではルノワールの描き出す光り輝く表現に私たちは無条件に心地よさを感じますが、当時のフランスの美術界ではなかなか受け入れられず、厳しい評価にさらされました。私たちが親しんでいるルノワールのやさしい表現は、実は絵画における革命でもあったのです。

余談になりますがルノワールはリュウマチに悩まされていたと聞いたことがあります。私共パレットktyの故松岡宣子さんも同じ病でした、彼女の画風は精密で光と影を追及していましたから、余計に相通じるものを感じて来ました。

福島市立美術館で国立西洋美術館所蔵 ミューズ：まなざし先の女性たち [開催中] 2017年4月22日(土)～7月2日(日)  
 「ミューズ」とは、美術、音楽、文芸などの諸芸術をつかさどる女神たちのことです。古代ギリシャでは、彼女たちは芸術家にひらめきを与え、制作意欲をかきたてる存在と信じられていました。芸術家にとってのミューズとは、実のところ、身近にいる女性たちのことだったのかもしれない。女性たちの姿は、かわいらしい恋人として、つつましやかな妻として、愛情あふれる母として、あるいは家庭を飛び出して仕事に勤しむ社会の担い手として、またときには男性を誘惑し破滅へと導く「ファム・ファタル」として、さまざまな姿で美術作品に登場します。ルネサンスから20世紀まで、魅力あふれる女性たちの姿をご紹介します。との触れ込みなので興味津々なので行ってきました。

**私とネコ達 6**  
佐藤 仁子

久しぶりの登場です。今までのお話し覚えていて下さるでしょうか。

ここから札幌時代小学校4年生です。早いもので半世紀以上も前の事になってしまいました。

あらら・・・気が付けば【私とネコ達】が【私の生い立ち記】に代わってきてしまいました。私の過去がばれてしまう・・・どうしましょう。でも仕方がない、後戻りはできません。

札幌の気候が私にはあったのか、秋田に居た頃のような具合の悪さはあまりなく、それでもやっぱり秋になると、わき腹が、ろっ骨にそって痛くなる。よく我慢していたと思います。心臓も痛い！！

今思えば心臓が痛いのではなく肋間神経痛・・・多発性硬化症の症状が強く表れ始めていたのでしょうか。

いつの間にか、私の病院通いは数は増えてきました。耳鼻科、小児科、整形外科と。とにかく先手必勝。病院は我慢せずに早く行った方が楽になる。治りが早い。気が付けば病院が大好き、注射が大好き人間になっていました。

その頃、一番印象に残っているのは、ロシア・・・当時はソビエト連邦。ガガーリンの「地球は青かった！」宇宙飛行士に憧れました。絶対宇宙に飛び立ちたい。夢は広がるばかり・・・。そして隣のYさん宅には、マル

ちゃんという名前のアイヌ犬。口の中に小豆色のおおきな斑点があるのが特徴です。

種別からいうと縄文犬。これは余談ですが沖縄の犬も縄文犬なんですよ。

このマルちゃんがこれがまた可愛いなんの・・・寒さに強い外犬のはずなのに、いつの間にか、我が家の石炭ストーブの前が居場所に。毎朝、裏口をトントンと叩いて家の中に入りたくと訴えます。戸をあけると足も拭かずに家の中へ。

ま・・・冬場は外は真白・・・雪景色。足はきれいですよね。そしてお昼寝。マルちゃんのおなかの前にニニがキャラちゃんを抱いて寝ていました。

あの仲の良さは何だったのでしょうか。犬にネコ・・・それもお互いが大人になってからの付き合い(?) 不思議です。



当時は外から雪をいっぱい大きなたらいに取ってきて塩を混ぜ、アイスクリームを作ったもので



す。そのたらいの中にボールを。ボールには(牛乳に砂糖、バニラエッセンス、隠し味に塩をちょっと入れておきます)しゃもじで、かき回し作ります。アイスクリームは冬に食べるものだと思ってました。

ちなみにクリスマスケーキも我が家はアイスクリームのケーキでした。

可愛い、可愛いキャラちゃんでは3歳になったある日、なんども、なんども後ろを振り向き、私達が呼ぶのも聞かずに出て行ったきり・・・帰ってこなくなりました。・・・え～ん!!・・・泣きました。私のキャラちゃん・・・あつ！みんなのキャラちゃんでした。

**編集後記**

冒頭でも書きましたが、15周年記念作品&文集が出来て来ましたので、このレターと共に皆様に郵送します。

15周年に寄せて原稿を書いて下さった、方々の紹介をします。

日本MS協会理事長水谷様・事務局長中島様・福島県立医科大学藤原先生・バイオジェン・ジャパン金田様・バイエル社石田様全国MS友の会会長峰岸様・事務局長若林様・全国MS友の会高知支部長田村様・愛媛県高津様・仙台市の那谷様・相原様・内山様・多賀城市の米沢様・朝倉様、栗林さんのヘルパーさん達・東京都の角谷様・最後に記念誌を印刷して下さった富士印刷の社長嶺岸様。

ありがとうございました。お陰様で立派な本が出来ました。

<m( )m>

**作品応募規定**

●障害者ご本人が製作されたものご本人の同意を得られた作品及びその方の周辺にいる方の作品。  
リハビリや 趣味で製作された作品、絵画、陶芸、手芸、俳句、短歌、川柳、書等

●基本的にはお金を掛けずにやりたいと思っておりますが、万が一の場合ご負担があるかも知れません、その際、事前にご相談します。

●搬入は基本的に自身で出来る方。遠方の方は例外を認めます。

